

移動制約の大きさが買い物客のバラエティ・シーキングに与える影響

1130444 堀 貴紀

高知工科大学マネジメント学部

1. 研究背景

日本では、中山間地域に住む高齢者を中心に、自家用車を持っているかなどの移動制約や金銭的な問題から生鮮食料品を充分に入手できず、結果として健康面に悪影響を及ぼす、「食の砂漠」問題が発生している。[1]

そして、本研究では、移動手段の有無のみならず、Variety Seeking 欲求（以下 VS 欲求）の大小も、過疎地の買い物行動や健康状態に影響を及ぼしているのではないかと示唆している。VS 欲求とは、消費者が、商品の選択の際に適度な変化を好む欲求のことで、人は適度な外的刺激（Optimal Stimulation Levels）を維持しようとするという OSL 理論に基づき今までに数多くの研究が行われており、既存研究では、VS 欲求が高い人ほど、ブランド・スイッチを頻繁に起こす事や、VS 欲求が大きい人ほど、一定期間に購入する商品の種類が多い事、などが明らかにされている。

2. 目的

研究背景で述べたように、移動制約の大きさと VS 欲求の大小が買い物に与える影響は、各分野の研究の中で明らかにされている。

そこで、本研究では、移動制約の大きさと、VS 欲求の大小の、どちらが、買い物行動に大きく影響するのかを明らかにするために、買い物行動に直接的な影響を与える原因として、移動制約変数（車の運転が出来るか、否か）と、VS 欲求変数（新奇性、多様性を好む性格か、否か）を設定し、この2つの変数の影響を受ける結果として、食の入手変数（①作ることの出来る料理数、②1週間で購入した野菜類の品目数、③1週間で購入した肉類の品目数、④1ヶ月間に1回以上、食品を買いに行く店の数⑤1ヶ月間に買い物に出かける回数）を設定した。

3. 研究方法

設定した3つの変数の値を収集するために、高知県の株式

会社サンプラザ様にご協力をお願いして、同社が展開するスーパーマーケット（サンプラザ越知店）にて、来店した女性のお客さんを対象に、アンケート用紙を用いた、聞き取り調査を実施した。なお、収集データ数は63件であり、質問項目は、下記のとおりである。

移動制約についての質問は、好きな時にいつも自分で運転できる自家用車があるか。

VS 欲求についての質問は、

①外食するとき、気に入るか分からなくても、普段一番食べていない物を試すのが好きだ、②食事や軽食を用意するとき、新しいレシピを試すのが好きだ、③馴染みのない食べ物を試すのは楽しいことだと思う、④外国から来た人たちがどんな食べ物を食べているか知りたい、⑤異国風の食べ物を食べるのが好きだ、⑥メニュー表に、自分がよく知らないものがあると、興味をそそられる、⑦自分が食べ慣れたものを食べるのが好きだ、⑧馴染みのない食べ物に、好奇心がある。

以上の8つの質問に対して、「非常に当てはまる」から「全く当てはまらない」までの、5段階の選択肢の中から最も当てはまるものを選択。（1問5点満点×8問＝40点満点で数値化）。

食の入手についての質問は、①鶏モモ肉か鶏ムネ肉、②豚バラスライス、③鮭、④サンマ、を使って作ることの出来る料理数の合計、1週間以内に購入した野菜類と、肉類の品目数、月に一回以上食品を買いに行く店の数と、その店に行く頻度（週2回など）。[2]

4. 結果

4.1 移動制約と VS 欲求が、作ることの出来る料理に与える影響

① 作れる料理数の平均数		
	VS欲求 小	VS欲求 大
車に乗れない	5.4品	7.7品
車に乗れる	7.3品	9.0品

凡例(図の見方)
 5.4品 → 7.7品:
 5.4品より7.7品が有意に大きい
 (P<0.05)

7.7品 = 7.3品:
 7.7品と7.3品には有意な差がない

図 4-1 作れる料理数の平均数

車に乗れるグループで見ると、VS 欲求が小さいグループより、大きいグループの方が、作れる料理の平均数が多い。

また、車に乗れないグループを見ても、VS 欲求が小さいグループより、大きいグループの方が、料理の平均数が多い。

これにより、車の有無と、VS 欲求の大小は、それぞれ、作れる料理の品目数に影響を与えるという、既存研究の結果が再確認された。

そして、車に乗れて、VS 欲求が小さいグループと、車に乗れず、VS 欲求が大きいグループの、作れる料理の平均数には大きな違いは見られない。これは、車の有無と VS 欲求の大小は、同程度に、作れる料理数に影響を及ぼしている事を表している。

4.2 移動制約と VS 欲求が、購入する食材数に与える影響

②. 1週間で購入した野菜類			③. 1週間で購入した肉種類		
	VS欲求 小	VS欲求 大		VS欲求 小	VS欲求 大
車に乗れない	9.4 品目	13.9 品目	車に乗れない	3.6 品目	4.6 品目
車に乗れる	12.3 品目	12.5 品目	車に乗れる	4.8 品目	5.0 品目

図 4-2 1週間で購入した食材の品目数の平均

車に乗れず VS 欲求が大きいグループ、車に乗れて VS 欲求が小さいグループ、車に乗れて VS 欲求が高いグループでは、1週間で購入した食材の品目数に大きな違いは見られなかった。これは、消費者が購入する食材数は一定値を超えると飽和状態となるため、車の有無と VS 欲求の大小の影響を受けなくなるためだと判断することが出来る。

4.3 移動制約と VS 欲求が、買い物をする店に与える

影響

④. 1ヶ月間に1回以上、買い物に行く店の数			⑤. 1ヶ月間に買い物に行く回数		
	VS欲求 小	VS欲求 大		VS欲求 小	VS欲求 大
車に乗れない	2.0店	1.8店	車に乗れない	17.3回	16.8回
車に乗れる	2.3店	3.3店	車に乗れる	15.7回	22.2回

図 4-3 1ヶ月間に行く店の数と、買い物に行く回数の平均数

車に乗れて、VS 欲求が大きなグループのみ数値が高く、他の3グループでは、数値に大きな違いは見られなかった。この結果から分かることは、買い物に行く店の数と、買い物に行く回数には、車に乗ることが出来る事と、VS 欲求が高い事、両方の条件を満たした人のみ、満足な食入手行動を取ることが出来るということである。逆に、車に乗る事が出来ない VS 欲求が高い人は、多くの店に行きたいと思っているのにも関わらず、実際には行動に移す事が出来ていないと、推察することが出来る。

5. 本研究まとめ

研究の結果、車の有無と VS 欲求の大小が、食品入手行動に寄与しているという、既存研究の結果が再確認された。

そして、新たな発見事項としては以下の3つがある。

①車の有無と VS 欲求の大小は、特定の食品入手行動において、同程度に、寄与している。

②食材の品目数については、購入品目数が一定以上を超えると飽和状態となるため、移動制約と VS 欲求からの影響を受けにくくなる

③買い物に行く店については、車に乗ることが出来る事と、VS 欲求が高い事、両方の条件を満たした人のみ、満足な食入手行動を取ることが出来ており、VS 欲求が高い人でも、車に乗ることが出来なければ、満足な食入手行動を行いたいという欲求が抑制されている。

引用文献

- [1] 食の砂漠：フードデザート 岩間信之、駒木伸比古、田中耕市、佐々木緑、池田真志 (2010年)
- [2] Van Trijp, H. C. M., Hoyer, W. D., & Inman, J. J. (1996), "When Satisfied Consumers Do Not Return: Variety Seeking's Effect on Short- and Long-Term Intentions," Journal of Article first published online: 5 JAN 2012